



西日本区中部ホームページ・http://www.ys-chubu.jp/

2013年9月号

「主題」

- 国際会長 : 全ての世界に出て行こう。
 アジア地域会長 : 未来を始めよう、いますぐに。
 西日本区理事 : 志をもって例会に参加し、学びの機会を持ちましょう。
 中部部長 : 長所を活かして生き生きと。
 プラザクラブ会長 : 5年後のプラザの為に今何を。
 強調月間・活動 : 【Menettes・メネット、コメントを誘って例会を持ちましょう! 笑顔も広がり、クラブに活気が出てくるはずです!】

9月例会および今後の予定案内

【9月第1例会・南山クラブと合同例会】

日時: 9月12日(木)・18:30-
 場所: 南山幼稚園
 内容: 「ボランティア・リーダーを励ます会」

【9月第2例会】

日時: 9月26日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 次月例会の打ち合わせ

出席義務者: 役員(島崎・榎田・後藤)
 10月担当者(榎田・万福寺)
 11月担当者(後藤・鈴木)

【今後の予定】

- 10月第1例会
 日時: 10月10日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 平口中部部長公式訪問
- 陶芸教室
 日時: 10月19日(土) - 20日(日)
 場所: 佐渡山工房
 土岐市下石(おろし)町 TEL. 0572-57-2656
 費用: 5000円/人(材料費込み)
- 10月第2例会
 日時: 10月24日(木)・18:45-
 場所: 名古屋YMCA会議室
 内容: 次月例会打ち合わせ

8月例会およびその他活動報告

(敬称略)

役員	会員氏名	出席者								
		1	2	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	大島 孝三郎	○	○	○	○					
	小澤 幸男	○	○							
書記	榎田 守隆	○	○	○						
会計	後藤 猛	○	○	○						
会長	島崎 正剛	○	○	○	○					
	鈴木 誉三		○	○	○					
直前会長	高田 廣	○	○	○						
連絡主事	万福寺 昭美	○	○							
ゲスト										
課外活動	①中部評議会 8/31									
	②中部部会 8/31									
出席率(%)										100.0
クラブファンド(円) ・ 当月/累計		0								0
10月号寄稿者・小澤(1600-2000字程度)										
11月号・鈴木/12月号・島崎/1月号・高田										

【2013-14年度クラブ役員】メネット連絡員・島崎正剛/副会長。プラザファンド・後藤猛/プリテン委員長。メール委員・榎田守隆
 EMC. BF. EF. JWF・高田廣/YMCA サービス。IBC. YEOP・小澤幸男/CS. TOF・鈴木誉三/広報事業・大島孝三郎/連絡主事・万福寺昭美
 メネット=ワイズメンの夫人および各個クラブが特別メネットとして入会を認めた女性。
 コメント=日本ではワイズメンの子女のことをコメントと呼ぶが、国際の呼称はワイズリングスである。

8月第1例会報告

日時:8月8日(木)・18:45-19:45

場所:名古屋 YMCA 会議室

1. 年間計画説明・島崎

7月・総会

8月・2013-14年間計画発表

9月・南山クラブと合同例会

・詳細1面参照

10-11月・卓話

12月・クリスマス例会

1-3月・他クラブとの合同例会(会長連絡会提案)

・卓話

4-5月・東北旅行

・卓話

◇高田さんが旅行社に期日・予算などを問い合わせ、企画案を作成、10月中に実施の可否を検討する。実施する場合は、11月よりクラブ会費を1万円/人とし、3月まで3000円/月・人を積み立てる。

概略・2泊3日東北パック旅行、予算4-5万円/人

6月・反省会

◇卓話とは、クラブメンバーおよびクラブメンバーが依頼する人の講演をいい、10-11月の2回、1-3月の2回、4-5月の1回、計5回(5ヶ月)行う。従って、クラブメンバー本人はもとよりお知り合いの講演者を探す努力をしていただきたい。

2. 連絡事項・島崎

(1) 中部部会参加者(略)

(2) 配車 島崎車・後藤、高田

榎田車・大島、鈴木

集合時間、その他はグループ毎に打ち合わせのこと。

(3) 十勝のジャガイモ・カボチャ

8月第2例会に数量をまとめる。

値段: ジャガイモ @1600/箱

カボチャ @2300/箱

3. 陶芸教室開催・榎田

昨年参加された方に案内状メール済み、今回は宿泊を計画しているので参加者は7-8人が望ましい。

8月第2例会報告

日時:8月22日(木)・18:45-19:30

場所:名古屋 YMCA 会議室

1. 会計・後藤

(1) 中部部会会費徴収

(2) 西日本区大会前納予備金について

プラザメンバー個々の記憶が定かでないため、上記前納金について精査する。

2. 連絡事項・島崎

(1) 中部部会に関する事項(略)

(2) 9月例会・南山と合同例会

飲む人は車の運転厳禁。

(3) 平口部長訪問、10月第1例会に要請、OKの場合、11月第1例会は中村総主事の卓話とする。

(4) 12月第1例会(クリスマス例会)は錦2丁目の寿司屋「うえのやま」で開催する。

3. メーリング・リストとは・大島

主に会長・メール委員が全クラブメンバーへ、同時に早く正確に伝え、全員が共有するためのパソコン機能の一つと考えます。従って、少人数のクラブの場合、発信者がCC機能で十分と思えばそれでも結構です。

中部部会

8月31日、2台の車に分乗して10時半に会場の金沢都ホテルに到着、島崎、大島さんとオブザーバーで鈴木さんが評議会に出席する。

第17回中部部会は西日本区理事、主任、各地区の部会関係者ら120人余が参集する。第1部は午後1時よりオープニング演奏で始まり、平口部長挨拶、来賓祝辞、国際ブースター賞授与式、中部役員、クラブ会長紹介など盛りだくさん、最後に献金袋を回して休憩を取る。



第2部は森乃福郎師匠が、知ったかぶりすると恥をかくという落語「転失気(てんしき=屁)」を好演する。



高瀬西日本区理事の乾杯のご発声で、第3部懇親会が始まる。ギター弾き語り、シャンソンなどを聞き、クラブ紹介、各部会のアピールと順調??に進行する。



わがクラブの面々も、加賀野菜を使った郷土料理「治部煮」など美味しかった、と満足そうでした。



金沢泊りの夜は、香林坊に出かけて1杯がお決まりになった。みなさん!! 口角泡を飛ばして、シリアだ、福島第一だ、と二次会でする話題ではないでしょう。



この金沢港の魚市場「いきいき魚市」もいつものルート、アマダイ、ノドグロ、シマエビなど欲しいものが揃っている。昨夜懇親会で食べた「ほたるいかの醤油漬け」が美味かった、試食して味は同じだったので即購入する。



記念写真を撮り、早々に金沢を後にする。途中、土砂降りの雨を縫って午後2時半、無事名古屋に帰還した。

海の世界

海の中を、ご紹介します・・・。
サンゴ礁の中には見慣れた生き物！ よく見ると、



体長1mくらいのカメがいました。

では、もっと大きな生き物。



これはマンタ。大きさは、3～4mです。
この場所に、今日現れるかどうかは、マンタしかわかりません。私たち人間は、予測して、待つのみ。

次に、小さな魚の世界へ！
砂地に生息する魚です。



ヨットの帆のようなものを立てています。
危険を感じると、砂の中へ。これは、ハゼの仲間です。



さて、どこに魚がいるでしょうか。



実は、ココにいます。(中央上部付近の赤い魚)



これは、枝ではなく、魚です。細長い魚で、海草にも見えます。海は私たちにとって、とても大切なもので

す。同じく魚たちにとっても、とても大切な環境です。このきれいな海がいつまでもきれいでありますように。(万福寺 昭美)

聖書の言葉

【(イエスは) 群衆にもこう言われた。「あなたがたは、西に雲が起るのを見るとすぐに、「にわか雨が来るぞ」と言い、事実そのとおりになります。また南風が吹きだすと、「暑い日になるぞ」と言い、事実そのとおりになります。偽善者たち。あなたがたは地や空の現象を見分けることを知りながら、どうして今のこの時代を見分けることができないのですか。また、なぜ自分から進んで、何が正しいかを判断しないのですか。あなたは告訴する者と一緒に役人の前に行くときは、途中でも、熱心に彼と和解するように努めなさい。そうでないと、その人はあなたを裁判官のもとにひっぱって行きます。裁判官は執行人に引き渡し、執行人は牢に投げ込んでしまいます。(ルカの福音書 12. 54-58)】

【今までは天気が簡単に見分けられ、指導者の判断に従って生きてきましたが、『今は救いを待っている時代ではなく、救いがすでに来ている時代です。主イエスと一緒に歩み、神と和解させていただく時代です』とネットの伝道師は解説する。】

【8月12日、国内観測史上最高の気温41度を記録し、13日まで40度台が4日間続いたのは統計開始以来全国初という、高知県四万十市で象徴されるように今年の夏は暑い。2007年8月16日、40.9度を記録した熊谷市と多治見市が「日本一暑いまち」を争っていたが、四万十市の地域振興課長は「両市には申しわけない」と謝ったとか。実は昔、日本一暑かった現地に居合わせたことがある。1978年8月3日、山形県酒田市が40.1度を観測したとき、社用車のカラーで両側畑の一本道を鶴岡市に向かって走っていた。カー・クーラーなどともない時代、窓を開けると車の中に熱風が吹き込み、まるで巨大なドライヤーを当てられたようで、却って暑い。窓を閉め汗ビッシュリで着いた鶴岡市は、当日暑さ国内第2位の39.9度だった。】

Zoom・ガイライゴ

岐阜県可児市に住む71歳の男性が、NHKのテレビ番組で外来語が多く使用され理解できないため、精神的苦痛を被ったとして、民法709条の「不法行為」に当たると141万円の慰謝料を求める訴えを名古屋地裁に起こした。『高橋さんは「若い世代は分かるかもしれないが、年配者は、アスリートとかコンプライアンスとか言われても分からない。質問状を出したが回答がないので提訴に踏み切った」と説明した。原告代理人の宮田陸奥男弁護士は、「外国語の乱用は全ての報道機関に言えることだが、NHKは特に公共性が強く影響がある。日本文化の在り方を社会に広く考えてほしい」と述べた』

(6月25日付中日新聞)

精神的苦痛を与えた外来語の例に「リスク」「システム」「ケア」「トラブル」「コンシェルジュ」などを挙げている。最近ときどきお目にかかる「コンシェルジュ」は兎も角、リスク、システム、ケア、トラブルは、71歳の年寄りでも一般的に使っているのでは、と思う。事実、国立国語研究所が2002年から2003年にかけて全国16歳以上の男女2868人に個別面接聴取した「外来語定着度調査」の①認知率・「見聞きしたことがある」②理解率・「意味が分かる」③使用率・「使ったことがある」は次の通り。「リスク」=①全体・87%(60歳以上・73%) ②72%(50%) ③63%(42%) 「ケア」=①91%(80%) ②76%(58%) ③65%(50%) 「トラブル」=①96%(89%) ②92%(81%) ③86%(71%)、なお、すでに「外来日本語」として定着している「システム」、まだホテルの「よろず相談承り係」を担う職名としての「コンシェルジュ」は調査対象の405語には入っていない。「日本語を大切にすべし」世話人の高橋さんは、会話や文章を書くとき「リスク」を危険、危険度、不確実性、「システム」を体系、制度、方式、などと日本語で使い分けていただろうか、などの声もあるが、この頃のテレビや新聞での外来語氾濫は、彼でなくとも多少の「精神的苦痛」を覚える。

8月5日の日経新聞に、普段は読まないIT関係の広告文があった。『ITソリューションベンダーは、ITインフラとしてIDC(インターネットデータセンター)を構築し、サーバーやストレージの統合運用でコストダウンを図る動きが加速している。』と、理解不能である。新聞や雑誌など読むものは、興味がなければ飛ばせばいいし、知りたいなら調べればいい。見て聞く受動的なテレビはそうはいかない。タレントの「みのもんた」がよく口にする「カミングアウト」の意味は、番組の流れから「秘密を告白する」くらいに思っていたが、語源は深刻である。90年代アメリカでエイズに感染したゲイが、家族や友人に告白するときの言葉として生まれたらしい。「リスペクト」も昨年11月の党首討論会で、野田元首相が安倍元自民党総裁に対し「一定のリスペクトは持っている」と発言して以来、「レジェンド」とともにお笑い芸人のトーク番組でよく聞く。どうして日本語の「尊敬、敬意」、「伝説、言い伝え」ではいけないのか。

外来語を使う理由に、日本になかった社会制度、概念や新しい学術用語を取り入れるとき、従来の日本語で言い換えが出来ないため、そのままカタカナで表記することが多い。皮肉なことに高齢者がお世話になる介護福祉関係には、「ホームヘルパー」「ケアマネジャー」や「ヴァイタルサイン(生命の兆候)」「ターミナルケア(終末期の医療・看護・介護)」など日本語でも理解しがたい言葉が並ぶ。新聞記事の中で外来語は10%を占め、テレビはそれを超えると言われている。これからの日本語は、文法はそのまま外来語に置き換える、月桂冠のコマーシャル「ムーンにフィット(月に合う)」でお馴染みのルー・大柴風になる、かもしれない。NHK!「いい加減にホワイト」。